



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配布日時	平成 28 年 11 月 22 日
資料配布		14 時 00 分

件名	「関西総合物流活性化モデル」を募集 ～関西物流を促進するビジネスモデルを国際物流戦略チームが支援～
----	---

概要	<p>国際物流戦略チーム※1は、様々な事業者による独自のビジネスモデルを支援することとして「関西総合物流活性化モデル」を募集します。</p> <p>「関西総合物流活性化モデル認定事業」は、関西の陸・海・空の物流全般において、産業界のニーズを的確に満たす独自性の高いビジネスモデルを認定し、普及促進を支援することにより関西の産業発展と物流の機能強化に寄与することを目的とします。</p> <p>○募集期間：平成28年11月25日（金）～平成29年1月20日（金）</p> <p>○申請書類提出先・問い合わせ先：別添 平成28年度「関西総合物流活性化モデル認定事業」※2 実施要領による</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募された事業は「関西総合物流活性化モデル評価委員会」※3により事業内容を審査のうえ認定します。 認定された事業は、事業内容に応じて、国際物流戦略チームが広報活動を中心とした事業普及・拡大のための各種支援を行います。 <p>※1「国際物流戦略チーム」とは 陸海空にわたる国際物流のインフラ整備と活用に向けて関西の産・学・官が取り組んでいます。詳細は以下のHPアドレスをご覧ください。 http://www.pa.kkr.mlit.go.jp/kbutsuryu/top.html</p> <p>※2「関西総合物流活性化モデル認定事業」とは「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」と「阪神港利用促進プロジェクト」を統合し、関西の物流全般を対象とした「関西総合物流活性化モデル」を認定する事業で、平成27年度に創設。</p> <p>※3「関西総合物流活性化モデル評価委員会」は 国際物流戦略チームが選任した学識者と、事務局で構成されています。</p>
----	--

取り扱い	平成 28 年 11 月 25 日 14 時 00 分 解禁
------	--------------------------------

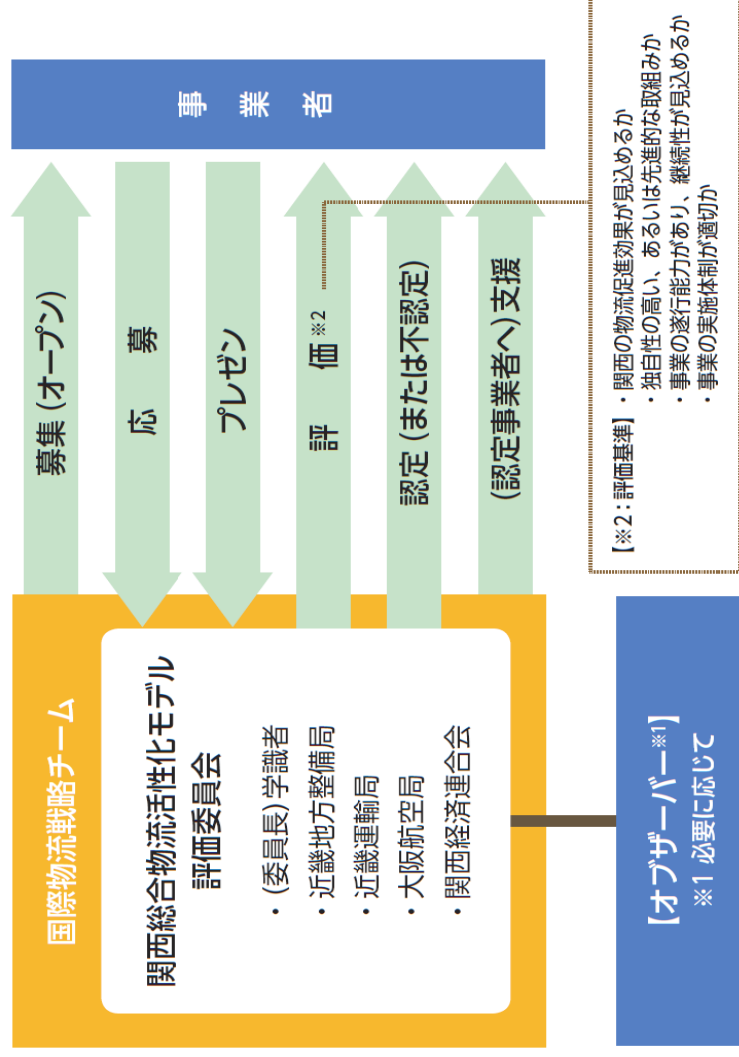
配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 神戸海運記者クラブ 神戸民放記者クラブ みなと記者クラブ 神戸経済記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ 和歌山地方新聞記者クラブ
------	--

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 TEL (078)391-3102 計画企画官 酒井 貴司 港湾物流企画室長 島村 博
------	--

「関西総合物流活性化モデル」認定事業の概要

- 国際物流戦略チームでは、これまで取り組んできた阪神港の利用促進を目指す「阪神港利用促進プロジェクト」と関西国際空港の利用促進を目指す「関西空港ニュービジネスモデル促進事業」を発展的に統合した認定事業を平成27年度に新たに創設しました。
- 当認定事業は、関西の陸・海・空全ての分野での国際物流サービスを対象とし、産業界のニーズを的確に満たす独自性の高いビジネスモデルを認定して普及促進を支援することにより、関西の産業発展と物流の機能強化を図ることを目指しています。

○事業の流れ



○認定事業者への支援例

- 国際物流戦略チームのHPにおいて、認定モデルを紹介
- 物流セミナーでのプレゼンテーション機会の提供、認定モデルのパンフレット作成・配布
- 国際物流戦略チーム構成員による広報協力
- 認定事業者が作成する営業媒体等へのモデル認定事業の表記

など

～平成27年度 関西総合物流活性化モデル～

養殖魚のフィレ加工、機能性包装、凍結、輸出事業

株式会社食縁

連絡先/Tel : 0735-31-5042 製造部

モデル概要

- 和歌山県新宮市に加工と海外輸出の拠点となる工場を設け、ブリをはじめとした国内養殖魚をフィレ等に加工し、アメリカなどに海外輸出する。

サービスの特長

- 近畿大学が種苗生産と研究支援を行い、全国各地の養殖業者がブリを養殖。
- 現地顧客の嗜好に合うように餌の工夫などにより、独特の臭いを排除。
- ICTを用いた「ハイテック養殖管理」による原価管理を実践。
- 食縁の新技术の機能性真空パック、徹底した温度管理などにより、品質を保持したまま、衛生的、安全に輸出可能。

3つの新技术で新しい味を実現
食縁のブリ
『におわない』食縁のブリ
魚が苦手な人にも食べやすい
夏でも脂が乗ったブリが楽しめる!

専用配合飼料【中部飼料と開発】
機能性真空パック【積水化成工業と開発】
漁場からの情報管理クラウド【富空通と開発】

刺身として使えるフレッシュフローズン

近畿大学支援による食縁の最新3技術

ブリのスタミナステーキ
霜降りブリのレアステーキ

欧州(EU)発 大阪・神戸港向け海上定温混載輸送サービス

株式会社阪急阪神エクスプレス

連絡先/Tel : 06-6539-1670 営業二課

モデル概要

- 新たに阪神港向けに海上定温混載輸送を設定することで、従来航空便やリーファーコンテナを単独で使用していた飲料・食品輸入企業に対して、効率的なサービスを提供する。

サービスの特長

- 高級ワインやチョコレート等の飲料・食品分野を中心に、定温輸送に適したリーファーコンテナを活用することで、フランス・オランダ・ドイツ・ベルギー等のEU諸国発阪神港向け定温混載(LCL)輸送サービスを創出。

欧州

日本(阪神港)

高温期間、阪神港到着後、リーファーコンテナのまま提携倉庫へ転送

提携倉庫にてデパニング(※)後、必要に応じて定温保管
※コンテナから荷物を取り出す作業

荷主の要望に応え、定温トラックでの国内配送サービスの提供

ルアーブル港(フランス)、ロッテルダム港(オランダ)、ハンブルグ港(ドイツ)、アントワープ港(ベルギー)での貨物集約

需要に応じた柔軟な混載スケジュール

港までの定温輸送および港での定温保管サービス

イギリス・オランダ・ドイツ・ベルギー・チェコ・フランス・イタリア・ロシアの8か国

阪神港と新門司港を結ぶフェリー事業

株式会社名門大洋フェリー

連絡先/Tel : 06-6449-7158 企画営業部

モデル概要

- 大型フェリー4隻を活用し、大阪南港～北九州・新門司港間を毎日上下2便、環境負担の少ない長距離幹線輸送を行っている。
- 近年のモーダルシフト等の需要の高まりを踏まえ、2015年9月、11月に、従来船から省エネ効果が高く輸送力を増強した2隻の大型新造船「フェリーおおさかⅡ」、「フェリーきたきゅうしゅうⅡ」を新たに投入。

サービスの特長

- 新造船「フェリーおおさかⅡ」、「フェリーきたきゅうしゅうⅡ」は、従来船に比べて30%を超えるトラック積載台数の増加とともに、最新技術の採用による30%以上の省エネ効果を実現。



2014年度グリーン物流優良事業者表彰受賞(株の業(株)殿を寄主として、株の系物流(株)船と共に共同受賞)

兵庫県西宮市～福岡県福岡市までのCO2削減効果

シフト前

シフト後

モーダルシフトによるCO2削減計算例

シフト前
兵庫県西宮市(578km)～福岡県福岡市
輸送距離×輸送量×CO2係数 578km × 4,499t × 130(g-CO2/トンキロ) × 1/1,000,000 = 338,055t-CO2
出量原単位

シフト後
兵庫県西宮市(47km)～大阪南港
47km × 4,499t × 130(g-CO2/トンキロ) × 1/1,000,000 = 27,488t-CO2
大阪南港(458km)～新門司港
458km × 4,499t × 130(g-CO2/トンキロ) × 1/1,000,000 = 82,421t-CO2
新門司港(74km)～福岡県福岡市
74km × 4,499t × 130(g-CO2/トンキロ) × 1/1,000,000 = 43,280t-CO2

合計 153,191t-CO2
削減効果 約55%削減
184,864t-CO2/年削減

計算方法及び輸送機関別の原単位は日本長距離フェリー協会のホームページ参照

青果物鮮度保持技術“MAXTEND”を使用した、阪神港からの農産物輸出促進事業

郵船ロジスティクス株式会社

連絡先/Tel: 06-6233-6209 開発課

モデル概要

- ・阪神港（神戸港・大阪港）から海上コンテナCA技術である“MAXTEND”を使用し、農産物の鮮度保持輸送サービスを開始する。

※CA=Controlled Atmosphere（コンテナ内に窒素を充填することにより、酸素濃度と二酸化炭素濃度を調整して青果物の呼吸量を抑制し、成熟及び関連した変化を遅らせることにより、長期間鮮度を維持するテクノロジー）

サービスの特長

- ・輸送前にリーファーコンテナへ窒素ガスを注入、専用機器を装着し、輸送中の酸素濃度管理を通じてコンテナ内を最適な大気組成にすることで農産物の鮮度保持効果を高める技術。
- ・通常のリーファーコンテナを使用する為、コンテナ供給がいつでも可能。
- ・冷蔵倉庫でのバンニングも対応可能。

※バンニング=コンテナに荷物を詰め込む作業

農産物の海外輸出… まだ空輸しているの？

CA (Controlled Atmosphere)

コンテナ内に窒素を充填することにより酸素濃度と二酸化炭素濃度を調整し青果物の呼吸量を抑制します。成熟及び関連した変化を遅らせることにより長期間鮮度を維持するテクノロジーです。
(エチレンガス吸収・二酸化炭素吸収などの組み合わせも可能です。)

コンテナ本数が少ない等CAコンテナのデメリットをMAXTENDが解決します！

- ① 使用コンテナは通常のReefer ContainerでOK
- ② どの航路でも、いつでも利用が可能
- ③ 20Feet/40Feet 両方に対応可能

輸送前：窒素ガス充填
輸送中：酸素濃度管理
輸送後：自然換気

Yusen Logistics

西日本内陸コンテナターミナル (ICT) 活用によるコンテナラウンドユース事業

ケービーエスクボタ株式会社

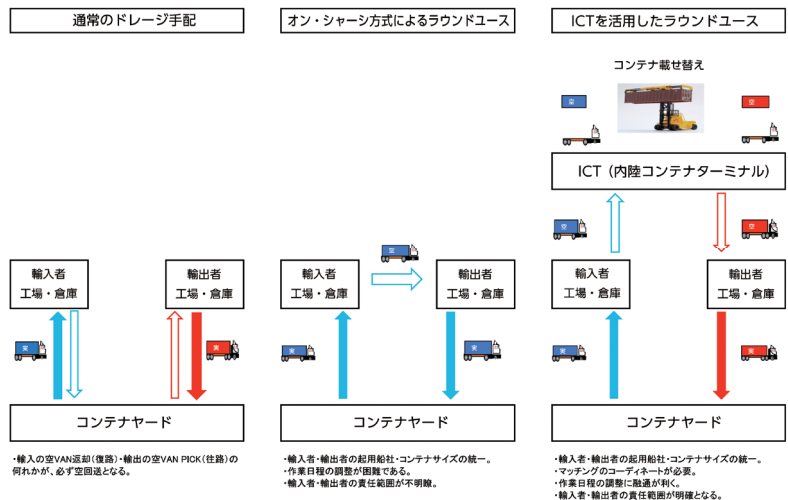
連絡先/Tel: 072-805-3080 海外G西日本チーム

モデル概要

- ・往路及び復路のいずれかが空となる関西圏の輸出企業・輸入企業の海上コンテナのトラック輸送において、内陸コンテナターミナル (ICT) を活用し、効率的にコンテナの往復利用 (ラウンドユース) を行うことで、物流の効率化及び二酸化炭素の排出量削減を図る取り組みを推進。

サービスの特長

- ・所在地=京都市伏見区横大路
- ・蔵置面積=約5,200㎡
- ・最大蔵置コンテナ数=150本
- ・契約船社=7社 (NYK, MOL, K-LINE, OOCL, HANJIN, CMA-CGM, MSC)



(参考) これまでの認定モデルのご紹介 〔「阪神港利用促進プロジェクト」及び「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」〕

～認定事業一覧(阪神港利用促進プロジェクト)～

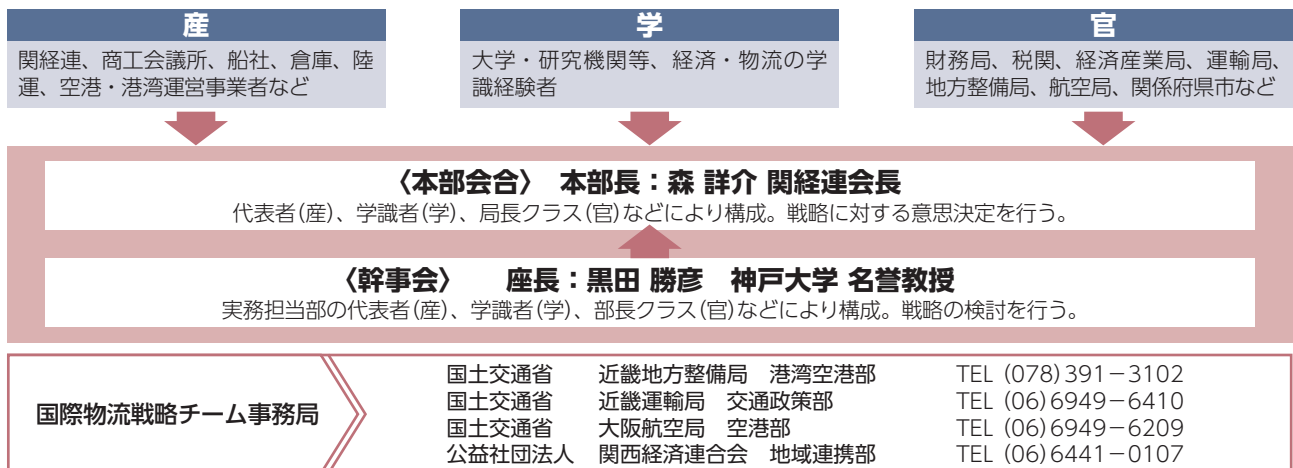
区分	事業名	事業者名
1	H26 アシストスーツ(荷役支援機器)を利用した港湾荷役作業	株式会社辰巳商會
2	H26 神戸⇄高松・小豆島間のカーフェリーを利用した外貿コンテナ貫輸送事業	ジャンボフェリー株式会社
3	H26 神戸⇄宮崎を結ぶ定期フェリー便による貨物輸送事業	宮崎カーフェリー株式会社
4	H26 阪神港と新門司港を結ぶフェリー事業	阪九フェリー株式会社
5	H25 阪神港～瀬戸内/九州 内航フィーダー機能強化事業	西日本内航フィーダー合同会社
6	H25 阪神港と瀬戸内・九州諸港を結ぶ内航コンテナフィーダー事業	鈴与海運株式会社
7	H25 阪神港⇄九州・瀬戸内 母船フィーダー運航事業	Orient Overseas Container Line Ltd Japan Branch
8	H25 ISO規格海上コンテナによる次世代型の「国内海上コンテナ輸送網」構築プロジェクト	井本商運株式会社
9	H25 夢洲物流センターの新設	横浜冷凍株式会社
10	H25 国内物流総合保険特約付き外航貨物海上保険	A I U損害保険株式会社 西日本地域事業本部

～認定事業一覧(関空物流ニュービジネスモデル促進事業)～

区分	事業名	事業者名
1	H26 関空における「ハラル物流」構築	関空ハラル物流準備委員会
2	H26 関空を利用した「日本酒」の海外輸出促進支援事業	損害保険ジャパン日本興亜株式会社
3	H26 “Cool JAPAN” の輸出支援深化	郵船ロジスティクス株式会社
4	H26 『関空をオールジャパンの架け橋に！』国内空港発！関空へ繋ぐ食・輸送基盤の構築にむけて	日本通運株式会社
5	H26 医薬品専用輸出梱包サービス [K-Medipac]	ワコン株式会社
6	H26 関空 医薬品輸送サービス案内 リフレッシュ工事	株式会社阪急阪神エクスプレス
7	H25 行ってCool JAPAN～日本文化の輸出支援	郵船ロジスティクス株式会社
8	H25 アジアの食輸出ハブ空港を目指すALL KANSAI FOOD CHAIN構想～関空発！食・輸出促進体制(プラットフォーム)の構築にむけて	日本通運株式会社
9	H25 関空発着貨物の複数温度帯冷蔵貨物国内配送サービス	株式会社阪急阪神エクスプレス
10	H25 関西国際空港を利用した再生医療製品の輸送ルートの確立	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
11	H25 KIX-Medica用国内物流総合保険特約付き外航貨物海上保険	AIU損害保険株式会社 西日本地域事業本部
12	H24 関西空港を利用した国産和牛輸出事業	エスフーズ株式会社
13	H24 『地産地翔』関西圏の“美味いもん”生鮮品を関空から	日本通運株式会社
14	H24 関空Medica利用の医薬品専用貨物保険	AIU損害保険株式会社 西日本地域事業本部
15	H24 関西国際空港における医薬品物流の更なる高品質化の取り組み及び関空の利用促進	日航関西エアカーゴ・システム株式会社、株式会社ANA Cargo (旧: ANAロジスティックサービス株式会社)、CKTS 株式会社、スイスポートジャパン株式会社
16	H24 アジアでの輸送業者対象KIX-Medica プロモーション	株式会社阪急阪神エクスプレス
17	H24 日本の通販商品を海外へ発送代行する事業	株式会社ナビバード
18	H24 関空を中継地とした医薬品輸送の検証	エーザイ株式会社
19	H23 中国向け鮮魚輸送モデルの本格事業化	株式会社ANA Cargo(旧: ANAロジスティックサービス株式会社)
20	H23 関西国際空港を利用した食品輸送出量の拡大	関空運輸株式会社、株式会社ひろ
21	H23 医薬品貨物専用保冷ドレーの製作と運用	CKTS株式会社
22	H23 アジアのハブ空港を目指すKIX GATEWAY提案 (トランジット貨物の取扱拡大への取り組み)	日本通運株式会社
23	H22 中国向け「加工食品」輸出事業	アクロスジャパン株式会社
24	H22 中国向け鮮魚輸出モデルの開発事業	株式会社ANA Cargo(旧: ANAロジスティックサービス株式会社)
25	H22 アジア向け「農産物」輸出事業	関空運輸株式会社
26	H22 食料品輸出梱包の開発事業	ワコン株式会社
27	H22 リードタイム短縮型新商品の開発事業	株式会社南海エクスプレス
28	H21 “医薬品貨物” 専用輸入共同上屋整備・運営	CKTS株式会社
29	H21 関空を中継地とした「コールドチェーン」輸送のサービス向上	フェデラル エクスプレス
30	H21 スペースチャーター便(共同配送)	関空運輸株式会社
31	H21 関西空港発着クールチェーン輸送のブランド化推進	航空集配サービス株式会社
32	H21 関西空港を活用した、ドアツードア輸送サービスの調査・開発	株式会社ロジスティクス・サポート&パートナーズ
33	H21 関空発輸出貨物のトラック共同輸送の取り組み	三洋電機株式会社
34	H21 関西空港発着便の利用促進と関西空港の機能を有効に活用した航空輸送の取り組み	三洋電機株式会社
35	H21 「Project -J- (Sea & Air 輸送サービス)」	ユーフレイトジャパン株式会社

国際物流戦略チーム(概要)

関西経済連合会や国土交通省国際物流施策推進本部による提案を受け、全国に先駆けて平成17年度に関西に設置された組織。国際コンテナ戦略港湾「阪神港」や関西国際空港等の活用等を図りつつ、国際物流の効率化を通じた関西経済の活性化を目指し、産学官が一体となって各種方策に取り組んでいる。



平成28年度「関西総合物流活性化モデル認定事業」実施要領

平成28年11月25日

国際物流戦略チーム

1. 趣旨

(1) 目的

本事業は、関西の陸・海・空全ての分野での国際物流サービスを対象とし、産業界のニーズを的確に満たす独自性の高いビジネスモデルを認定して普及促進を支援することにより、関西の産業発展と物流の機能強化を図ることを目的とします。

(2) 概要

本事業では、関西の物流全般を対象に企画を募集し、その中から、産業界のニーズを的確に満たす独自性あるビジネスモデルを認定し、事業促進を支援します。

2. 募集方法

(1) 応募対象

- ①：過去に国際貨物の取り扱い実績がある物流企業、商社、荷主企業
- ②：①の事業者に対し物流に関連するサービスを提供する事業者
- ③：①または②の事業者を代表とする協議会等の団体
- ④：その他、適当と認められる事業者

(2) 関西総合物流活性化モデル（活性化モデル）の要件

- ・ 関西の物流機能（陸・海・空）を利用した国際物流の効率化や促進、あるいは環境改善に寄与する事業であること
- ・ 先進性、あるいは独自性の高い取組であること
- ・ 実施事業について、適宜の情報提供、成果（取扱貨物量、効果、事例等）の公表ができること
- ・ 現に実施されている事業又は認定の翌年度に事業を開始し、一定の期間継続して実施されること
- ・ 実施体制が適切であること

(3) 募集スケジュール（予定）

平成28年11月25日 応募受付開始（～平成29年1月20日募集締切）

平成29年2月中旬頃 認定可否決定

平成29年3月頃 国際物流戦略チーム本部会合において認定結果を報告

※募集締切後の審査期間中に評価委員会を開催し、申請者より申請内容について委員にご説明いただく予定です。

(4) 応募書類の提出

別紙1「平成28年度関西総合物流活性化モデル 認定申請書」に必要事項を記入のうえ、必要添付書類とあわせて、下記の書類提出先に郵送(5.)又はメール(6.)でご提出ください。

ご提出いただいた書類及び資料の返却はいたしませんので予めご了承ください。

3. 認定方法

応募いただいた活性化モデルについては、「関西総合物流活性化モデル評価委員会」により内容を審査のうえ認定の可否を決定します。評価委員会による審査は、別紙2「関西総合物流活性化モデル評価委員会 評価基準」に沿って行います。評価委員会では、モデルの内容について申請者からプレゼンテーションしていただくほか、必要に応じて収支計画、貨物量の見込み等を提出していただくことがあります。

4. 支援内容

(1) 国際物流戦略チーム本部会合での告知

認定された活性化モデルの申請者は、国際物流戦略チーム本部会合において活性化モデルの内容を発表し、関係者に周知することができます。

(2) その他広報活動

認定された活性化モデルに対しては、国際物流戦略チームによる告知活動など、活性化モデルの普及・拡大のための各種支援を行います。

5. 申請書類提出先・問い合わせ先

(空港関連)

大阪航空局 空港部 関西国際空港・大阪国際空港課 担当：富澤^{とみざわ}、天野^{てんの}
TEL：06-6949-6209 FAX：06-6949-6219
〒540-8559 大阪府中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎4号館 14F

(港湾関連)

近畿地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室 担当：木下^{きのした}、西光^{にしみつ}
TEL：078-391-3102 FAX：078-325-8288
〒650-0024 神戸府中央区海岸通2-9 神戸地方合同庁舎

(その他物流関連)

近畿運輸局 交通政策部 環境・物流課 担当：橋本^{はしもと}、平馬^{へいま}
TEL：06-6949-6410 FAX：06-6949-6169
〒540-8558 大阪府中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎4号館 12F

6. メールでの申請書提出・お問い合わせ先

「関西総合物流活性化モデル認定事業」について、メールでの申請書の提出やお問い合わせにつきましては、以下よりお願いいたします。

pa.kkr-hnk-kansaisougou@ml.mlit.go.jp

※国際物流戦略チームは、阪神港や関西国際空港等の活用等を図りつつ、国際物流の効率化を通じた関西経済の活性化を目指し、産学官が一体となって各種方策に取り組む組織です。

産：関経連、商工会議所、船社、倉庫、陸運、空港・港湾運営事業者 等

学：大学・研究機関等、経済・物流の学識経験者

官：財務局、税関、経済産業局、運輸局、地方整備局、航空局、関係府県市 等

別紙1

平成〇〇年〇月〇日

申請者名

代表者名

印

平成28年度 関西総合物流活性化モデル 認定申請書

関西総合物流活性化モデルの認定を下記の通り申請します。

記

1. モデル名	
2. モデル概要	
3. 事業期間	
4. 関西地域の物流促進に寄与する点	
5. 事業の独自性や先進性	
(参考) 国際物流戦略チームに期待するサポート	

連絡先	所在地：〒	
	担当部署・役職・氏名	
	TEL:	FAX:
	Email:	

【添付書類】：事業企画書

※事業企画書の書式は自由です。

※事業企画書にはモデルの実施体制および実施スケジュールを必ず記載して下さい。

以上

平成28年〇月〇日

申請者名 ○○○○株式会社

代表者名 ○〇 ○〇 印

平成28年度 関西総合物流活性化モデル 認定申請書（記載例）

関西総合物流活性化モデルの認定を下記の通り申請します。

記

1. モデル名	内航コンテナ船による九州-阪神港間輸送
2. モデル概要	九州地域発着の東南アジア、北米向け貨物を、阪神港にフィーダー輸送し、阪神港で本船に積み替えて輸送する。
3. 事業期間	平成29年4月から
4. 関西地域の物流促進に寄与する点	釜山港等でトランシップされていた貨物を阪神港トランシップに切り替えることで、阪神港の国際物流貨物量の増加に寄与する。
5. 事業の独自性や先進性	既存サービスよりも寄港先、寄港スケジュールを拡充し、顧客のニーズを的確に満たす。
(参考) 国際物流戦略チームに期待するサポート	・九州、四国、中国地方での知名度向上のために、各地方の国際物流戦略チームに対する広報。 ・関西荷主企業への周知。

連絡先	所在地：〒	
	担当部署・役職・氏名	
	TEL:	FAX:
	Email:	

【添付書類】：事業企画書

※事業企画書の書式は自由です。

※事業企画書にはモデルの実施体制および実施スケジュールを必ず記載して下さい。

平成28年〇月〇日

申請者名 ○○○○株式会社

代表者名 ○〇 ○〇 印

平成28年度 関西総合物流活性化モデル 認定申請書（記載例）

関西総合物流活性化モデルの認定を下記の通り申請します。

記

1. モデル名	関空を利用した「食の輸出」促進事業
2. モデル概要	注目度の増している日本食に着目し、関西から海外への輸送を拡大するため、食料品の輸出の促進に資する新しい輸送のサービスを構築する。
3. 事業期間	平成29年4月から
4. 関西地域の物流促進に寄与する点	食料品向けに低コストで利便性の高い輸送サービスを提供することで、日本発海外向けの食料品輸送の地位を確立し、関空からの輸出促進に寄与する。
5. 事業の独自性や先進性	食料品を空港内で適切に保管、梱包できる施設を完備することで「食の輸出」を促進する。
(参考) 国際物流戦略チームに期待するサポート	各PR媒体を活用した広報支援

連絡先	所在地：〒	
	担当部署・役職・氏名	
	TEL:	FAX:
	Email:	

【添付書類】：事業企画書

※事業企画書の書式は自由です。

※事業企画書にはモデルの実施体制および実施スケジュールを必ず記載して下さい。

平成 28 年 1 月 10 日

関西総合物流活性化モデル評価委員会 評価基準

【評価・採択基準】

関西総合物流活性化モデルの評価にあたっては、以下の項目について、提出書類及びプレゼンテーション等に基づき総合的に判断し、認定の可否を決定する。

評価項目
① 関西の物流促進効果が見込めるか
② 独自性の高い、あるいは先進的な取組であるか
③ 事業の遂行能力があり、継続性が見込めるか
④ 事業の実施体制が適切であるか

【各評価項目の採点方法】

①物流促進効果

採点基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流量の拡大が具体的に見込める ・ コスト削減効果が見込める ・ リードタイムの短縮が見込める ・ 輸送品質の向上が見込める ・ セキュリティ水準の向上が見込める ・ 在庫管理、生産管理の向上が見込める ・ 陸、海、空の異なるインフラの事業者が連携した取組である ・ 関西の物流施設（空港・港湾・鉄道・道路など）を利用したサービスの充実が見込まれる ・ 顧客の物流上のニーズを満たすサービスである ・ 環境の改善が見込まれる <p style="text-align: right;">など</p>

②先進性・独自性

採点基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 業界において先進的な物流アイデア、技術を活用した取組である ・ 既存の商慣行・商習慣を変革し、物流の効率化を実現したものである ・ 既存のビジネスモデルを工夫・改良し、サービスの充実を図るものである ・ 将来的に関西物流の発展につながる構想を有する ・ 関西の地域的特長を生かした、あるいは地域に根差した事業である <p style="text-align: right;">など</p>

③安定性・継続性

採点基準	
<ul style="list-style-type: none">・ 事業計画の内容が具体的である・ 事業の遂行能力を有しており、安定的に事業を実施できる・ 事業遂行上の手法が適切である・ 翌年度以降も事業を継続して実施する見込みがある	など

④実施体制

採点基準	
<ul style="list-style-type: none">・ 適切な人員、組織、設備等を有しており、実施体制が適切である・ 事業者同士の連携が円滑に行われる体制が整えられている	など

以上